

令和7年12月1日 令和7年第1回臨時会
議長選挙に係る所信表明

眞鍋 幹雄 議員

皆様おはようございます。

この度の議長選挙に推薦をいただき立候補させていただきます眞鍋幹雄でございます。

令和の新時代を迎え、すでに2回目の改選が行われた今日、心を新たに市政発展へ、そしてそのための議会運営・議会改革に向けての、所信を述べさせていただきます。

本格的な地方分権が進展する中で、意思決定機関であります議会が果たすべき役割と責任は、ますます重くなっています。本市議会の目的は住民福祉の向上と増進であると考えています。市民目線と市民感覚を持ちつつ、市民の負託に応える。そして二元代表制の本旨であります行政監視機能の強化こそが、今の私たちに求められていると感じております。

ご承知のとおり、近年、人口減少が進み、少子高齢化社会が到来している中、全国各地で起こっている自然災害や、感染症のまん延など、予期せぬ事案が多く発生しております。議会は、そのたびに迅速な対応が求められております。

私たちは、財政の健全化、産業経済の活性化、医療や公共交通の基盤強化、高等教育のイノベーション、持続可能な地方創生等々の山積する課題に対して、調査・研究を尽くし、合意形成を図りながら、より良い結論を、一つ一つ導き出していかなければなりません。理事者側とは、議論すべきところは大いに議論し、協力すべきところはしっかりと手を携え、市民の皆様の生命、暮らしを第一とし、柔軟に対応しなければならないと思っております。

さらなる市政発展に向けて、その責任の一端を担わせていただきたく、今回、立候補をさせていただきました。全身全霊で努力してまいります。

どうか議員各位のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げまして、私の所信

表明とさせて頂きます。宜しくお願い申し上げます。